IPLEX MX Ⅱオペレーションマニュアル

このたびは、本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
このオペレーションマニュアルでは、本製品のご使用にあたってのセットアップ方法、ならびに基本的な操作部各部の機能とインジケーター・メニュー表示の内容を紹介しています。

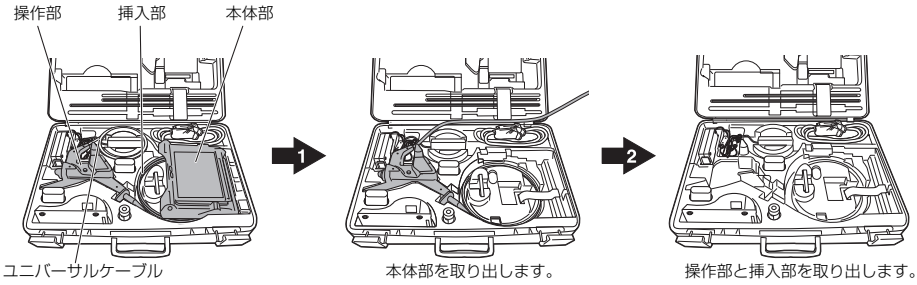
本製品を取り扱う際は、IPLEX MX Ⅱの取扱説明書の記載内容や注意事項を熟読の上、内容を遵守してください。

IPLEX MX Ⅱのセットアップ

本製品は、簡単なセットアップでどなたもすぐに検査業務を開始できます。
次の４つのステップを経るだけで、セットアップ完了です。

1. ケースから取り出す

本体部→挿入部→操作部の順で取り出します。

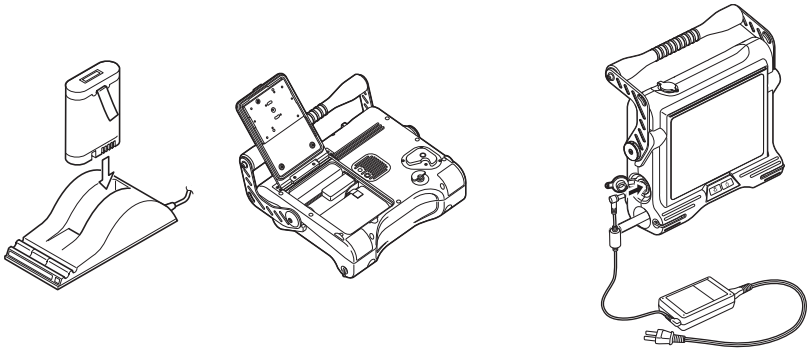


注意

- 操作部、本体部を取り出すときは、挿入部、ユニバーサルケーブルを持って引き上げることは絶対にしないでください。機器が破損するおそれがあります。

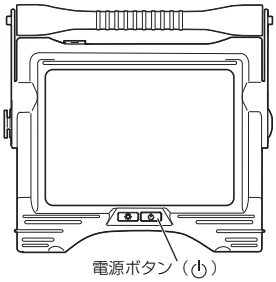
2. 電源を準備する

・バッテリー使用時　：バッテリーが充電されていることを確認し、本体部にセットします。
・AC アダプター使用時：AC アダプターを本体部の AC アダプター接続端子に接続し、AC 電源コードをコンセントに確実に接続します。



3. 電源を入れる

本体部の電源ボタン（⏻）を 2 秒以上押して電源が入ることを確認します。



4. 照明点灯の確認

画面上にライトインジケーターが表示されているかを確認します。表示されていない場合は、フロントパネルの LIGHT ボタン（☼）を押して表示させます。

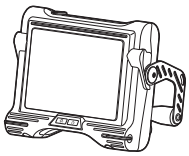
挿入部から出射される光を確かめ、照明が点灯したことを確認します。

これでセットアップは完了です

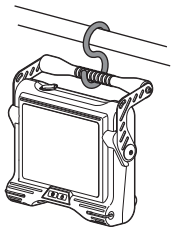
本体部を設置する

本体部は下図のように、3 種類の方法で設置することができます。

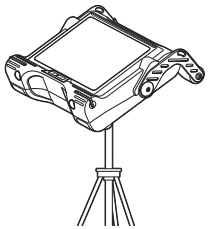
ハンドルをスタンドとして設置する



ハンドルを引っ掛けて設置する



三脚を取り付けて設置する

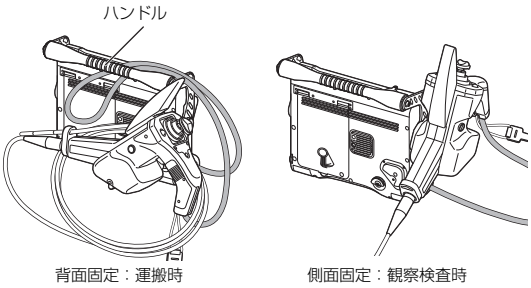


⚠ 注意

- 本体部を平らな場所に、がたつかないように置いてください。がたついた状態だと、本体部が倒れやすくなります。
- 本体部を高所に載せて使用しないでください。落下するおそれがあります。
- 本体部を吊り下げる場合は、吊り下げる場所の強度を充分確保し、落下のおそれがない所にハンドルを引っ掛けてください。
- 三脚は地面が平らな所に設置してください。傾斜があったり、凹凸があるなどの地面の場合、倒れやすく危険です。

操作部を本体部に固定する

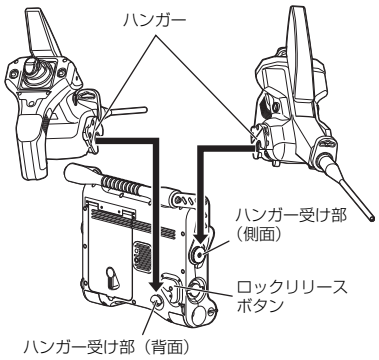
操作部は本体部に着脱自在に固定することができます。
本体部と一体にして持ち運んだり、本体部に固定したまま観察検査を行うこともできます。



操作部側面のハンガーを、本体部側面または背面のハンガー受け部にまっすぐはめ込みます。
ハンガーが受け部に対して傾いていると、うまくはめ込めないことがあるため、なるべくまっすぐにはめ込んでください。

注意

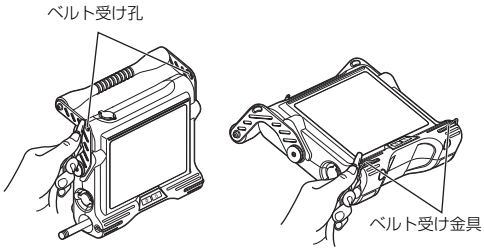
- **操作部を本体部に固定した状態で持ち運ぶ場合は、ハンドルを握って持ち上げてください。操作部を握って持ち上げると、本体部が脱落したり、本体部に無理な力がかかり接続部を破損させるおそれがあります。**



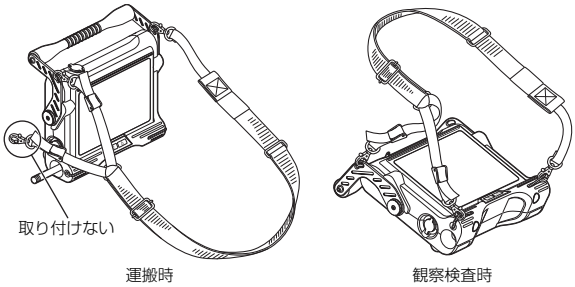
ベルトを使う

1. ショルダーベルトのフックレバーを押しながら本体部のベルト受け孔、またはベルト受け金具にフックを引っ掛けます。

   運搬時には 2ヶ所のベルト受け孔に取り付けます。観察検査時には2ヶ所のベルト受け金具と片側1ヶ所のベルト受け孔に取り付けてください。



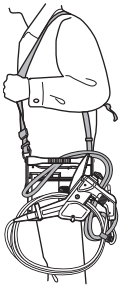
2. 観察検査時では右図のように、ショルダーベルトの二股側が本体部の左側になるようにして取り付けてください。二股側を本体部の右側に取り付けることもできますが、操作部を本体部側面に取り付けた場合、バランスが悪くなり使用できません。



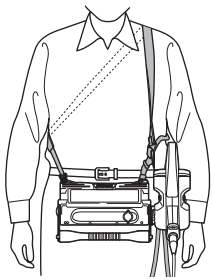
3. ショルダーベルトを使って、IPLEX MX Ⅱ（本体）を肩に掛けます。

注意

- 運搬時はユニバーサルケーブルが床に接触しないようにしてください。
  足を引っ掛けて転倒したり、本機に損傷を与えるおそれがあります。

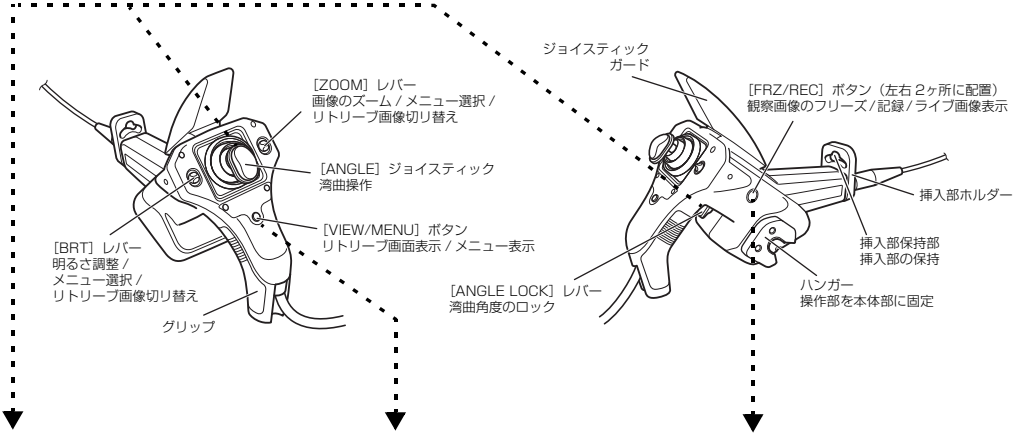


運搬時



観察検査時

操作部各部の名称と働き



湾曲操作を行う

［ANGLE］ジョイスティックを、観察した方向に合わせてゆっくりと操作します。

湾曲状態をロックする

1. 湾曲している状態で、［ANGLE LOCK］レバーをクリック感のある位置まで引き上げることで湾曲部がロックされます。
2. 再度［ANGLE LOCK］レバーをクリック感のある位置まで引き上げることで、湾曲ロックが解除されます。

画像をクイック再生する

ライブ画面で［VIEW/MENU］ボタンを押すと（短押し）、記録画像がフル画面で表示されます（リトリーブ画面）。画像再生中に［BRT］レバーまたは［ZOOM］レバーを操作して、再生画像を切り替えます。

画像を記録する

画像を記録する前に、USB メモリーのフォーマットを本体部で行ってください。手順の詳細については、IPLEX MX Ⅱ取扱説明書をご覧ください。

静止画の記録

操作部の［FRZ/REC］ボタンを押して（短押し）、画像をフリーズします。
フリーズ画像の表示中に再度［FRZ/REC］ボタンを 2 秒以上押すと（長押し）、フォルダ内に静止画が記録されます。

インジケーターの表示

メニュー画面の表示

［VIEW/MENU］ボタンを２秒以上押して（長押し）、メニュー画面を表示させます。

［BRT］レバーまたは［ZOOM］レバーを操作して、実行するメニュー項目を選び、［VIEW/MENU］ボタンを押します。

ライブ画面／フリーズ画面のメニュー表示と機能

メニュー	機能説明
タイトル入力	タイトルを入力します。
ホワイトバランス	ホワイトバランスを自動的に合わせます。白い被写体（紙）などを撮像して操作してください。 「実行」を選択すると、白バランスが自動調整されます。 フリーズ中にホワイトバランスを選択することはできません。
プリントスクリーン	画面に表示されている日付・時刻、タイトル、ロゴなどを静止画に上書きするかどうかを設定します。 入： 上書きします。 切： 上書きしません。
メディアフォーマット	USB メモリーをフォーマットします。

メニュー	機能説明
画面表示	画面最下行の表示の設定を行います。 全表示　　：日付、時刻、タイトル、「OLYMPUS」ロゴ、ズームレベル、明るさレベルを表示します。 日時+ロゴ　：日付、時刻、タイトル、「OLYMPUS」ロゴを表示します。 日時　　：日付、時刻、タイトルを表示します。 切　　：何も表示しません。
ビープ音設定	内蔵スピーカーから出力されるビープ音を鳴らすか鳴らさないかを設定します。 入：ビープ音を鳴らします。 切：ビープ音を鳴らしません。
日時あわせ	日付と時刻を設定します。
言語設定	メニューやメッセージの表示言語を切り替えます。 日本語及び他の言語の選択ができます。
終了	メニュー画面から元の画面に戻ります。

リトリーブ画面のメニュー表示と機能

メニュー	機能説明
全消去	USB メモリー内に記録されているすべての画像を消去します。
消去	リトリーブ画面で再生中の画像を消去します。

タイトルの入力

文字ボタンによる入力

1. ［ZOOM］レバーを操作して、画面右の入力モード一覧から「A」、「1」、「#」、「À」、「ア」または「←」を選んで、［VIEW/MENU］ボタンを押します。
2. ［BRT］レバーを操作して、入力したい文字を選んで、［VIEW/MENU］ボタンを押します。
3. 必要に応じて、文字の編集をします。

取り扱い上及び一般的な注意事項について

本製品を取り扱う際は、以下の注意事項を厳守してください。

⚠ 危険

- 人体や動物の体腔内観察には絶対に使用しないでください。人体や動物が死亡したり損傷を与えるおそれがあります。

⚠ 警告

- 可燃性雰囲気では絶対に使用しないでください。爆発事故や火災を起こすおそれがあります。
- メタルダストなどの粉塵がある環境下では使用しないでください。
- 本製品は、挿入部以外はケースを含めて防水仕様ではありません。挿入部以外が水につかる状態での使用及び保管は絶対に行わないでください。感電事故を起こすおそれがあります。
- 通電中の電気装置内の観察には絶対に使用しないでください。挿入部外装は導電性のため活電部に触れると感電事故を起こします。
- 使用を中断する場合は必ず LIGHT ボタン（☼）を OFF にしてください。照明を点灯した状態で挿入部を放置すると、挿入部の出射光の近くにある物体が高温になり発火するおそれがあります。
- 挿入部先端部は照明光、電気部品などによる内部の発熱により熱くなっています。特に高温雰囲気中で使用した直後に挿入部先端に触れると、やけどをするおそれがあります。
- 挿入部先端からの出射光を直接目に入れないようにしてください。目に傷害を与えるおそれがあります。
- 湾曲操作中に少しでも異常を感じた場合には、それ以上無理な湾曲操作を行わないでください。挿入部や検査対象物を破損するおそれがあります。
- LCD 面に物をぶつけたり強く押さないでください。LCD が破損して怪我をするおそれがあります。
- LCD 面を硬いもの、先が鋭利なものなどでこすらないでください。LCD パネルが割れたり、傷がつくおそれがあります。
- バッテリー装着部やバッテリー端子部には、金属片や、水などの液体を入れないでください。万一、機器内部に入った場合は、接続されているバッテリーや AC アダプターを取り外し、直ちにお買い上げになった販売店または当社支店、営業所にご連絡ください。
- 各コネクター端子には直接手を触れないでください。故障し、感電事故を起こすおそれがあります。
- 各コネクター端子などの隙間から機器内部へ、金属、その他異物を入れないでください。故障し、感電事故を起こすおそれがあります。
- 発煙、異臭、異音など異常を感じた場合、機器が動作可能であっても、直ちに使用を中止し、その後電源を投入しないでください。
- 本機を輸送する際は、電源を切ってバッテリーを外してください。通電中に本機を輸送すると思わぬ事故につながり非常に危険です。

バッテリーの取り扱いについて

次のことを守らないと、バッテリーの液漏れ、発熱、発煙、破裂や感電、やけどの原因になります。

⚠ 危険

- Li-ion バッテリーは、IPLEX MX Ⅱシリーズ指定のバッテリーと充電器を使用しないと危険です。
- バッテリーと充電器に付属されている取扱説明書を熟読し、内容を十分に理解してから、その指示に従って使用してください。
- バッテリーの装着向きを逆にして装着･使用しないでください。また、機器にうまく入らない場合は無理に接続しないでください。
- 端子をショート（短絡）させないでください。
- 端子へ直接ハンダ付けしないでください。端子部安全弁の破壊やバッテリー液の飛散が生じ危険です。
- バッテリーの電極を金属などで接続したり、金属製のネックレスやヘアピンなどと一緒に持ち運んだり、保管しないでください。
- 電源コンセントや自動車のシガレットライターの差し込みなどに直接接続しないでください。
- 火中への投下や、加熱をしないでください。爆発する危険があります。
- バッテリー液が目に入った場合は、失明の原因になります。こすらずにすぐ水道水などのきれいな水で充分に洗い流し、直ちに医師の診察を受けてください。
- バッテリーを分解したり、改造しないでください。爆発・発火の危険があります。
- バッテリーを水や海水などにつけたり、濡らさないでください。
- 火のそばや、高温・炎天下などでの充電はしないでください。爆発・発火の危険があります。
- 針を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしないでください。爆発・発火の原因となります。
- バッテリーを落としたり、投げつけたりして、強い衝撃を与えないでください。
- バッテリーを着脱する際は、安定した場所で行ってください。不安定な場所ではバッテリーが落下し、爆発、発火の原因になります。

⚠ 警告

- IPLEX MX Ⅱシリーズで指定されていないバッテリーを使用しないでください。
- 充電器では指定されたバッテリー以外のバッテリーを充電しないでください。
- バッテリーの充電が所定充電時間を超えても完了しない場合は、充電を中止してください。
- 液漏れしたり、変色、変形、異臭その他異常を見つけたときは使用しないでください。直ちに修理を依頼してください。
- バッテリー液が皮膚・衣服へ付着したときは、直ちに水道水などのきれいな水で洗い流してください。皮膚に障害を起こす原因になります。必要に応じて医師の手当を受けてください。
- バッテリー収納部を変形させたり、異物を入れたりしないでください。
- 充電中、衣類やふとんなどをかけたり、またかかりそうな状況にしないでください。

⚠ 注意

- 濡れた手でバッテリーの端子に触れないでください。
- バッテリーは正しくご使用ください。誤った使い方は液漏れ、発熱、破損の原因となります。交換するときは挿入方向に注意して正しく入れてください。

OLYMPUS
オリンパス株式会社
〒163-0914 東京都新宿区西新宿2-3-1 新宿モノリス　www.olympus.co.jp

支店･営業所所在地
東　京　〒163-0914　新宿区西新宿2-3-1 新宿モノリス ……☎03(6901)4090
名古屋　〒460-0003　名古屋市中区錦2-19-25 日本生命広小路ビル ……☎052(201)9577
大　阪　〒532-0003　大阪市淀川区宮原1-6-1 新大阪ブリックビル ……☎06(6399)8006

MM0615 01